

問 日本版DMOを活用し、地方創生に国の交付金や補助金を活用する検討をしているのか。

答 西美濃創生広域連携推進協議会で、話題には出ているが、規模的に難しいのではとの感触である。

問 広報いけだに、まちづくり工房の霞溪舎の指定管理者の募集が掲載されている。指定管理者が代わるのか。

答 指定管理の契約期間が2年であり募集しているが、現段階では応募がなく審査会で検討していく。

問 大津倉公園のバーベキューガーデン利用者は、どちらから来られるのか。

答 申し込み259件の内、町内12%・町外88%。ほとんどが県内で、県外は43件となっている。

問 交流会体験ツアーアンケート報告書の、交流会で印象に残った話について、「ママに優しい町で、保育

園も多く待機児童がゼロということ」とある。今後、子育てに関する施設として、新築の片山保育園の見学も、ツアーに入れていくような考えはあるのか。

答 出来るだけ取り入れられるものは取り入れて、ピールしていきたい。

問 池田山を活用した体験交流ツアーの最終目標で、ツアー参加者数、1人当たりの観光消費額の数値が記載されているが、具体的実績をつかむ根拠があるのか。

答 参加者数は毎年の実績からの想定人数であり、観光消費額は岐阜県の統計数値を当初の地方創生の目標数値にしている。



記念植樹



農業体験



池田山より

要望 3月議会では、平成30年度の取り組みとして、地方創生プロジェクト各項目の目標値に対する現状数値の提出をお願いしたい。

養老鉄道存続特別委員会

問 養老線の27駅の内、有人駅が8駅ある。養老線管理機構の中で有人駅を減らす計画はあるのか。

答 削減について具体案は無く、今後も人員削減を要望していく。

問 車輛更新費用の改造費で、平成30年度は6輛で1億4千7百万円に対し、平成31年度は9輛で2億8千万円とあるが、車輛は5割増えたのに費用が倍増している理由は。

答 中間車輛のない2輛編成が多いことや、予備部品の購入の為。

問 車輛改造に伴い、車輛幅の違いの為、ホームを削る改修を行ったが、ホームと車輛の空間差の対策は。

答 基本的には2cmであり、問題はない。

問 車輛が増える事により、廃棄車輛はどのようになるのか。

答 基本的には廃棄になり、部品など、売却出来る物は売却していくつもり。



更新車輛

要望 国土交通省や観光庁が、観光マーケティングや商品開発などを一体に進める組織(日本版DMO)を、3市4町で養老鉄道について検討してはどうか。